

頼れる先輩・後輩 「ビジネス同窓会」

大学の同窓生ネットワーク組織が、働く女性たちに注目されている。同窓ならではの安心感があり、仕事の悩みを相談したり、働き方のヒントを得たりすることができる。大学側も、後輩の就職支援につながる、組織の運営を後押ししている。

(岡安大地)

専門外の発想 身近で安心感

このほか、法政大学や東京大学のように、ホームページ上に、卒業生が交流できる場を設けているところもある。

働く女性が同窓生ネットワークを活用している背景について、立教大学ビジネスデザイン研究科教授の広江彰さん

(中小企業論)

は「職場以外で違った発想を持った人と接することで

自分に足りない要素が見え、頑張ろうという気持ちになる。業種によってはまだ女性が少ないだけに、同じ環境で学んだ同窓生のネットワークは最も身近で、活用しやすいのだろう」と話す。

大手電機メーカー法務部に

勤める庄司知子さん(25)は、2004年に立教大学を卒業するとき、同級生らと「立教ビジネススクリエーター塾(RBC)」を設立した。同大学の卒業生有志が毎月1回集まり、勉強や情報交換を行う、いわば「ビジネスのための同窓会」だ。会員は20歳代を中心に約300人おり、2/3割は女性。

設立の理由として、庄司さんは「専門分野だけに偏らず、視野を広く持っていたかったから、卒業生との交流は有益だと思った」と話す。

外部講師を勉強会に招いたり、別の業種の同窓生と懇談したりと、会社内だけでは作れない人間関係ができた。「仕事に対するやる気も一層でできた。RBCから学んだことは多い」と語る。

民間信用調査会社に勤める山田陽子さん(25)は、入社して数か月後にRBCに参加した。「自分の能力を高めたい」と社外の勉強会への参加も考えたが、年齢層が高く、しかも男性が多いとの話を耳にしたため断った。たからだ。「大学時代の共通の話題から話を始められて、うち解けやすかった」

中小企業診断士の資格取得のため勉強していた昨夏、懇親会で卒業生である税理士と出

悩みも相談 注目集める ネットワーク

生がいるのだから、力を合

取締役の横井千香子さん(59)もクラブ設立にかかわった一人。「男性は会社内外に同窓生ネットワークがあり、ビジネスにもつながっている。昭和女子大もたくさん卒業

Women @ Work あっとわーく



「立教ビジネススクリエーター塾」には女性参加者も多い(東京都内)

語の姿から刺激を受けた。会で出会った先輩の話から、資格は取るだけではなく、取った後に生かすことが大事だと再認識した。その後、勉強に気合が入った」

昭和女子大学の卒業生有志は昨年2月、働く同窓生のネットワーク組織「光葉ワーキングクラブ」を設立、定期的な情報交換会を行う。

大手クレジットカード会社

和子さん(50)は「同窓生ということで信頼でき、仕事の悩みを相談できる」。広報企画制作会社取締役の磯辺まみかさん(45)も「『昭和女子大学の学生なら採用したい』と思われるように、先輩の私たちが活躍しなきゃ」と話す。昨秋は母校の文化祭で就職相談会を開いた。